①実用発電用原子炉施設

		放射性気	放 射 性	
				液体廃棄物
発電所名		希ガス	ョ ウ 素	(³ Hを除く)
		(D)	[¹³¹ I]	(D.)
		(Bq)	(Bq)	(Bq)
北海道電力(株) 泊発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	1. 3E+15	1. 2E+10	1. 1E+11
東北電力(株) 女川原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	3. 8E+15	1. 3E+11	1. 1E+10
東北電力(株) 東通原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	1. 2E+15 *1	2. 0E+10 *1	3. 7E+09
東京電力(株) 福島第一原子力発電所	原子炉施設合計	-		放出実績なし
	年 間 放 出			
	管理目標値	8. 8E+15	4. 8E+11	2. 2E+11
東京電力(株) 福島第二原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	5. 5E+15	2. 3E+11 *2	1. 4E+11
東京電力(株) 柏崎刈羽原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	6. 7E+15	2. 3E+11	2. 5E+11
中部電力(株) 浜岡原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出	*3	*3	*4
	管理目標値	3. 6E+15	1. 1E+11	3. 7E+10
北陸電力(株) 志賀原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	2. 3E+15	4. 8E+10	7. 4E+10
関西電力(株) 美浜発電所	原子炉施設合計	5. 4E+07	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管理目標値	2. 1E+15	7. 3E+10	1. 1E+11
関西電力(株) 高浜発電所	原子炉施設合計	4. 5E+08	N. D.	N. D.
	年 間 放 出			
	管 理 目 標 値	3. 3E+15	6. 2E+10	1.4E+11

- 注:福島第一原子力発電所における「放出実績」とは、排水設備から管理された状態で放出された放射性 液体廃棄物の実績であり、東北地方太平洋沖地震の影響による放出については含まれていない。
- *1:東北地方太平洋沖地震の影響のため、事業者にて評価中。 なお、東北地方太平洋沖地震の影響により排気口又は排気監視設備で測定出来ない箇所については、 各号機からの放射性気体廃棄物追加的放出量を測定し、1~3号機の放出量の合計は、年間約876億 Bqと評価している。
- *2:全希ガスの検出限界濃度は、測定指針^{**}に定める測定下限濃度に基づくが、7号機排気筒放射線 モニタサンプリング配管接続部の不具合(隙間からの外気流入)の影響により、¹³¹I及び全粒子 状物質の検出限界濃度については、測定指針^{**}の測定下限濃度を上回っているため、補正後の検 出限界濃度の最大値を記載した。
 - (※発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針)
- *3:放出管理目標値は3~5号機の合計値。1・2号機は合計で、希ガス、ヨウ素それぞれ測定下限濃度未満。
- *4:放出管理目標値は3~5号機の合計値。1・2号機はそれぞれ9.2E+09。

		放射性気	放 射 性	
		~	,	液体廃棄物
秋 康 正 4		希ガス	ョ ウ 素 「 ¹³¹ I]	(³ Hを除く)
発電所名		(Bq)	(Bq)	(Bq)
関西電力(株) 大飯発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	4. 0E+15	1. 0E+11	1. 4E+11
中国電力(株) 島根原子力発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	8. 4E+14	4. 3E+10	7. 4E+10
四国電力(株) 伊方発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	1. 5E+15	8. 1E+10	1. 1E+11
九州電力(株) 玄海原子力発電所	原子炉施設合計	1. 3E+10	N. D.	N. D.
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	2. 2E+15	5.8E+10	1. 4E+11
九州電力(株) 川内原子力発電所	原子炉施設合計	3. 5E+09	N. D.	N. D.
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	1. 7E+15	6. 2E+10	7. 4E+10
日本原子力発電(株) 東海発電所	原子炉施設合計			3. 9E+05
	年 間 放 出 管 理 目 標 値			*5 3. 4E+07
日本原子力発電(株) 東海第二発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	1. 5E+06
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	1. 4E+15	5. 9E+10	3. 7E+10
日本原子力発電(株) 敦賀発電所	原子炉施設合計	N. D.	N. D.	N. D.
	年 間 放 出 管 理 目 標 値	1. 7E+15	3. 8E+10	7. 4E+10

注: 気体 (液体) 廃棄物の放出放射能 (Bq) は、排気 (排水) 中の放射性物質の濃度 (Bq/cm^3) に排気 (排水) 量を乗じて求めている。

なお、放出放射能濃度が検出限界濃度未満の場合は N.D. と表示した。

検出限界濃度は次のとおり。(Bq/cm³) 放射性希ガス : 2E-02 以下 放射性ヨウ素 : 7E-09 以下、

ただし東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所は9.2E-09*2

放射性液体廃棄物 (³Hを除く) : 2E-02 以下 (⁶⁰Co で代表した。)

*5:放出管理目標値は、 60 Co、 137 Cs、 152 Eu及び 154 Eu を対象。